

令和4年度(8号)

こんにちは

松山市地域包括支援センター和気・堀江です



節分も過ぎたとはいえ、余寒厳しい日々が続いております。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスに振り回されてきた3年間ですが、現在はワクチンの接種が進み社会もコロナ前の日常を取り戻しつつあります。当事業所も少しずつ地域での活動を再開し、皆様とお会いできるようになり大変うれしく思っております。

政府は感染症法上の分類について、5月8日に現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針を決定しました。より活動的な世の中になると思いますが、今後も感染対策を継続しながら、地域での活動をさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

活動報告です！



オレンジ鶴プロジェクト

9月の世界アルツハイマー月間にあわせて、海の駅うみてらすに認知症啓発の掲示板を作成しました。テーマカラーである『オレンジ』の鶴を千羽折り、認知症の啓発をするこの企画。地域住民の方に参加していただけるように折鶴創作の場所を設け、参加された方へのお礼のチャームも手作りしました。多くの方に参加、ご協力いただき千羽鶴が完成しました。現在包括センター和気・堀江の入り口に飾っています。



出張相談会

10月14日、JA 松山市堀江支所前で出張相談会を行いました。介護相談や血圧測定に加え、ミルコム南様の協賛で骨密度の無料測定も行いました。



来てくださった方々に、包括手作りの認知症クイズの入ったガチャガチャをしていただきました。正解すれば景品がもらえます☆

※松山市地域支援ケア向上事業の一環として開催しました。

うみてらすカフェ



12月23日、『うみてらすカフェ』と称して、海の駅「うみてらす」で、茶話会をしました。認知症や地域の困りごとなどざっくばらんに話し合え、ホッとできるひとときを提供させていただきました。一緒に正月飾りを作り、集いの場づくりにむけてアンケートを実施しました。第二回も開催決定しました。



和気・堀江地区消費者被害アンケート調査報告



被害防止啓発活動の参考に、和気・堀江地区の高齢クラブやサロン、高齢者福祉事業所を対象に消費者被害アンケート調査を行いました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

調査の結果、消費者被害が拡大していることを見聞きしている方が多く、契約前に慎重に対応する姿勢が見受けられました。

相談先には「警察」「消費生活センター」が多く「地域包括支援センター」は少ないという結果も出ていました。

地域包括支援センターが「身近な相談窓口」の一つであることを知っていただき、今後も消費者被害についての情報発信や啓発を行い、地域の団体や関係機関との連携強化に努めたいと思います。



ロコモに負けてたまる会



運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を「ロコモティブシンドローム」=ロコモといいます。『ロコモに負けてたまる会』と称し、ロコモ度測定会を企画しました。年度中に3回測定会をし、筋力が維持、あるいは向上できた方を『貯筋賞』として表彰させていただきました。



皆さんとても
熱心に取り組ま
れています！



家族介護教室



今年度の家族介護教室のテーマは『防災』です。日本赤十字社愛媛県支部事業推進課平野昇先生、有馬三貴先生、松山短期大学の垣原登志子教授をお招きし、『高齢者にできる災害の備えと応急手当』『災害に備える～日常食・非常食の違い』についてお話いただきました。



和気・堀江地区にある施設さんのご紹介です

※地域の施設を順次紹介しております

有料老人ホーム

施設に入居し、日常生活上の支援や介護などを受けることができます。

和家 すずらん



一言コメント: 利用する方の「その人らしさ」を最大限に生かした生活を支援し、笑顔の絶えない場所「第2の我が家」と思ってもらえるよう心がけています。

福寿



一言コメント: あなたの大切な家族を「ありがとう」の気持ちでお世話いたします。入居者の方々が安心して笑顔で生活ができるように支援させていただきます。

松山市地域包括支援センター和気・堀江

松山市堀江町甲338-2

電話番号 911-8005



ココです

編集後記 : 愛媛マラソンが3年ぶりに開催されました。私もコロナ禍以前はランナーで参加していましたが、膝の故障のため今回は残念ながら辞退し、ボランティアで参加しました。ボランティアの活動も多岐に渡り、改めてたくさんの方々が大会を支えて下さっていると感じました。次回出場の際は、ボランティア等、大会関係者への感謝を忘れずに走りたいと思いました。(M・K)